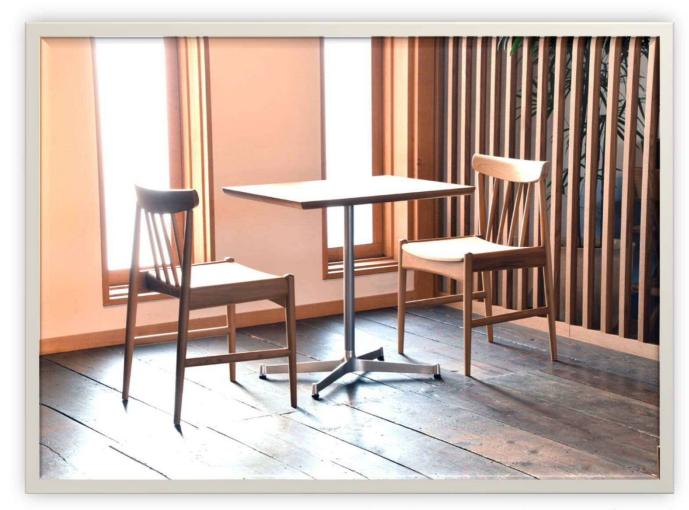
第25号

小人くみあいだるり

平成30年12月 発行



【飛騨産業×森林組合おわせ コラボ商品】

「尾鷲ヒノキを活用した家具シリーズ」としてウッドデザイン賞を受賞いたしました この商品は、森林組合おわせと㈱飛騨産業による地域活性用家具シリーズとして 三重県尾鷲ヒノキ材を使用して開発されました。



〈本 所〉

〒519−3408

三重県北牟婁郡紀北町便ノ山200番地 Tel.0597-32-0275 Fax.0597-33-0028

E-mail:forest@owase.or.jp

〈円柱加工場〉

〒519−3408

三重県北牟婁郡紀北町船津2655番地 Tel.0597-35-0877 Fax.0597-35-0890

【第 22 回 通 常 総 代 会】

平成30年6月22日、紀北町民センターにて、第22回通常総代会を開催致しました。 総代定数200名に対し本人出席58名、書面決議書76名、委任状7名、合計141名により成立。

第1号議案 平成29年度事業報告については、下記損益計算書の通りとなりました。

第2号議案 平成30年度事業計画の設定についても、下記損益計算書の通りとしました。

第3号議案 平成30年度借入金の最高限度5億円

第4号議案 平成30年度1組合員に対する貸付最高限度額は2百万円以内

第5号議案 1組合員に対する債務保証の最高限度額5百万円以内、平成30年度における債務保証の最高限度額は3百万円以内

第6号議案 平成30年度余裕金預け入れ金融機関、百五銀行、第三銀行、紀北信用金庫、伊勢農業協同組合、ゆうちょ銀行、農林中央金

第7号議案 平成30年度役員報酬は理事報酬150万円以内、監事報酬50万円以内

第8号議案 平成29年度森林組合おわせ労働保険事務組合の事業報告

第9号議案 退任役員に対する慰労金の支給について

用・U 与 譲 ・安 役員の選任について

付带決議

以上、10議案全てに賛成して頂き、成立致しましたことを報告します。

平成29年度損益計算書((実績)	(単位:千円)
--------------	------	---------

科 目 小 計 合 計	一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一	<u>(単位:十円)</u>	
1 事業総収益 2 事業総費用 事業総利益 1 事業負益 1 事業管理費 事業利益 1 事業管理費 事業利益 1 事業外収益 2 事業外費用 多62 事業外費用 多62 事業外費益 経常利益 IV 特別損益 1 特別利益 2 特別損失 特別損益 特別損益 特別利益 大特別損益 特別利益 大特別損益 対対の対対対対対対対対対対対対対対対対対対対対対対対対対対対対対対対対対対	科目	小 計	合 計
2事業総費用 404,003 事業組益 121,679 工事業損益 117,391 事業利益 4,288 工経営損益 1,401 1事業外収益 1,401 2事業外費用 562 事業外損益 838 経常利益 5,126 IV特別損益 6,168 2特別損失 10,741 特別損益 △4,573 税引前当期利益 553 法人税・住民税及び事業税 315 当期剰余金 238 前期繰越剰余金 9,952	I 事業総損益		
事業総利益 II 事業損益 1 事業管理費 事業利益 III 経営損益 1 事業外収益 2 事業外費用 事業外損益 経常利益 IV 特別損益 1 特別利益 2 特別損失 特別損益 特別損益 特別損益 特別利益 2 特別損失 特別損益 税引前当期利益 法人税・住民税及び事業税 当期剰余金 前期繰越剰余金 121,679 117,391 4,288 117,391 4,288 1,401 562 838 5,126 1,401 562 838 5,126 0,4573 238	1 事業総収益	525,682	
 Ⅲ 事業損益 1 事業管理費	2 事業総費用	404,003	
1 事業管理費	事業総利益		121,679
事業利益 III 経営損益 1 事業外収益 2 事業外費用 事業外損益 経常利益 IV 特別損益 1 特別利益 2 特別損失 特別損益 特別損益 特別損益 特別損益 特別損益 特別損益 特別損益 特別損益	Ⅱ 事業損益		
Ⅲ 経営損益 1 事業外収益 2 事業外費用 562 事業外損益 経常利益 1,401 562 事業外損益 経常利益 5,126 Ⅳ 特別損益 1 特別利益 5,126 Ⅳ 特別損益 1 特別利益 5,126 Ⅳ 特別損益 1 特別利益 5,126 ※ 特別損益 10,741 ※ 特別損益 ※ 大税・住民税及び事業税 当期利益 ※ 315 315 315 318 第28 前期繰越剰余金 9,952	1 事業管理費	117,391	
1 事業外収益 2 事業外費用 事業外損益 経常利益 IV 特別損益 1 特別利益 2 特別損失 特別損益 特別損益 特別損益 特別損益 特別損益 特別損益 特別損益 特別損益 大付・住民税及び事業税 当期剰余金 前期繰越剰余金	事業利益		4,288
2 事業外費用 事業外損益	Ⅲ 経営損益		
事業外損益 経常利益 IV 特別損益 1 特別利益 2 特別損失 特別損益 特別損益 特別損益 特別損益 (A,573 税引前当期利益 法人税・住民税及び事業税 当期剰余金 前期繰越剰余金	1 事業外収益	1,401	
経常利益 IV 特別損益 1 特別利益 2 特別損失 特別損益 特別損益 特別損益 特別損益 特別損益 特別損益 大税・住民税及び事業税 当期剰余金 前期繰越剰余金 5,126 5,126	2 事業外費用	562	
Ⅳ 特別損益 1 特別利益 6,168 2 特別損失 10,741 特別損益 553 税引前当期利益 553 法人税・住民税及び事業税 315 当期剰余金 238 前期繰越剰余金 9,952	事業外損益		838
1 特別利益 6,168 2 特別損失 10,741 特別損益 6,168 10,741	経常利益		5,126
2 特別損失 10,741 特別損益	Ⅳ 特別損益		
特別損益 △ 4,573 税引前当期利益 553 法人税・住民税及び事業税 315 当期剰余金 238 前期繰越剰余金 9,952	1 特別利益	6,168	
税引前当期利益553法人税・住民税及び事業税315当期剰余金238前期繰越剰余金9,952	2 特別損失	10,741	
法人税・住民税及び事業税315当期剰余金238前期繰越剰余金9,952	特別損益		△ 4,573
当期剰余金 238 前期繰越剰余金 9,952	税引前当期利益		
前期繰越剰余金 9,952	法人税・住民税及び事業税		315
			238
V 当期未処分剰余金 10,190	前期繰越剰余金		9,952
	Ⅴ 当期未処分剰余金		10,190

平成30年度損益計算	書(計画)	(単位:千円)
赵 日	\\ ₹	스 닭

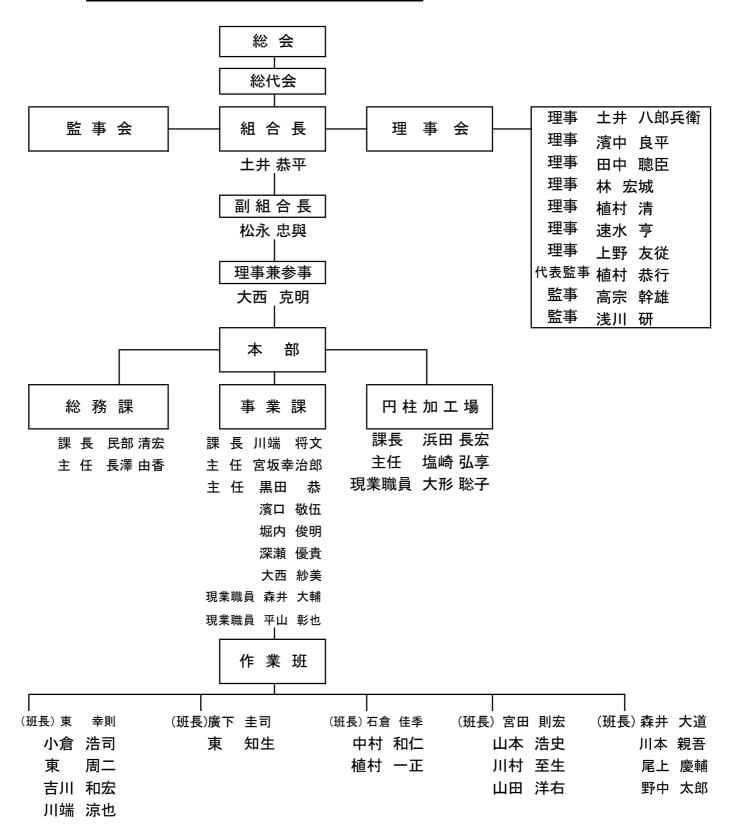
科目	小 計	合 計
I 事業総損益		
1 事業総収益	463,710	
2 事業総費用	340,550	
事業総利益		123,160
Ⅱ 事業損益		
1 事業管理費	120,000	
事業利益		3,160
Ⅲ 経営損益		
1 事業外収益	1,500	
2 事業外費用	500	
事業外損益		1,000
経常利益		4,160
Ⅳ 特別損益		
1 特別利益	10,000	
2 特別損失	11,000	
特別損益		△ 1,000
税引前当期利益		3,160
法人税・住民税及び事業税		900
当期剰余金		2,260
前期繰越剰余金		10,191
V 当期未処分剰余金		12,451

【総代会風景】





森林組合おわせ組織図



組合員の状況

組合	員数	役員数		職員数	
正組合員	868	理事	10	一般職員	11
准組合員	16	監事	3	現業職員	21
合計	884	合計	13	合計	32

円柱加工場の納品物件

始神テラス(紀北町) 檜(紀北町産) 構造材・化粧材 200m 3

















東京都美術館

FSC認証権材「円柱φ5cm×3m」約1,120本出荷 東京都美術館「キュッパのびじゅつかん」にて展示(平成27年7月~10月)



ミラノ万博日本館「食と祈りの食卓」(イタリア)

FSC認証檜材を用いて4つの空間を形作り、三重県の食文化を紹介 FSC認証檜材「105mm×105mm×3m~4m」約170本出荷 (三重県が展示)



スープストックTOKYOシンガポール店 FSC認証檜材「105mm×105mm×1m」約230本出荷



スープストックTOKYO名古屋高島屋 ㈱TOYOTA「トヨタ三重宮川森林」の木材を使用 FSC檜材の委託加工にて出荷



老人福祉施設(松阪市) 腰板 檜 無地上小節 230m² 床板 檜 無地上小節 400m²













平成2年1月1日から

県土の6%を占める森林は、私たちの共有の財産である「水」の源です。県では、このような 森林を将来にわたって守っていくため、「三重県水源地域の保全に関する条例」を制定しました

ります。 的に確保するには、 る水。この水をいつまでも安定 森林を守り育てていく必要があ 私たちの豊かな暮らしを支え 水源である

を守ります 用を促すことで大切な水源地域 事前届出を求めることとしま 例」を制定し、 さらに他の道県では外国資本等 や、山村の過疎化・高齢化が進み、 林所有者の森林への関心の低下 重県水源地域の保全に関する条 森林の増加も危惧されています。 れており、 による森林の取得事例も報告さ 森林の荒廃が懸念されています。 水源地域内の土地取引において、 を明らかにし、 このため、 しかし、 森林の所有目的・利用目的 林業の低迷による森 利用目的が不明確な 県では7月に 知事が指定する 適正な土地利

荒廃が懸念される三重の森林

の森林所有者数は約11万3千 なっています。 クタール未満の小規模所有と そのうちの91%が5へ

加や、 5年間で森林の整備を実施す 規模が小さくなるほど「今後 施した調査では、森林の所有 においても今後放置森林の増 合が高くなっており、 る予定はない」と回答する割 森林の荒廃が懸念され 三重県

(%) 平成 23 年農林水産省 「林業経営に関する意向調査」より ています。

100

28

80

平成25年度末における県内

農林水産省が平成23年に実

森林のはたらきを金額にすると

今後5年間の森林施業の実施に関する意向

26

20

全体

0

所有規模が小さいほど

森林への関心が低い!

500ha 以上

1ha 以上

20ha 未満

■毎年実施 ■必要な時期に実施 ■実施する予定はない

40

40

60

三重県の森林が持つ水源かん養、水質浄化機能 を代替の方法で置き換えた場合の評価額は年間 5,520 億円。これは、県民一人当たり約30万円の 恩恵を森林から受けて暮らしていることになります。

(日本学術会議が平成 13 年に農林水産省に答申した 試算方法を参考に県が試算: 平成17年7月)

> 促進します。 保安林指定の推進や公的な管理を 地域を「特定水源地域」に指定し 源地など特に保全する必要がある 水源地域のうち、 水道事業の水

取引前に事前届出を!

があった場合は勧告や公表等を行 への届出をお願いします。 を締結する30日前までに、 うことがあります。 引については、無届や虚偽の届出 水源地域に指定された土地の取 売買等の契約 必ず県

水源地域とは?

重県森林審議会の意見を聴いたう 能の維持増進を図るために保全す せします。 月ごろにホームページ等でお知ら えで知事が大字単位で指定し、 る必要がある地域です。市町や三 民有林のうち、 水源のかん養機

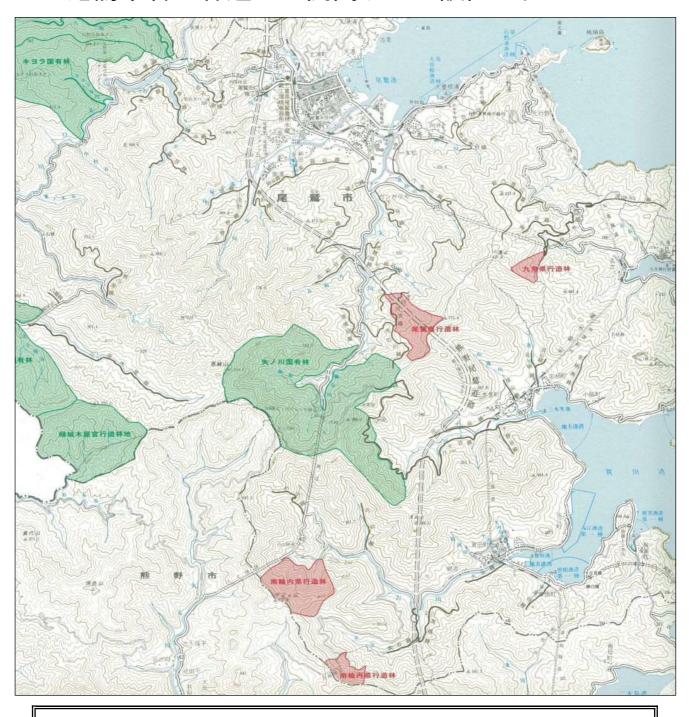
制度の概要など、詳しくはホームページをご覧ください。

問い合わせ先 農林水産部 森林・林業経営課

☎ 059·224·2564 🖾 059·224·2070 🖾 shinrin@pref.mie.jp

■ http://www.pref.mie.lg.jp/SHINRIN/HP/mori/ 三重の森林づくり

尾鷲市管理林道への開閉ゲート設置のお知らせ



平素は林業振興にご協力賜り厚く御礼甲し上げます。つきましては、平成27年度より林道開閉ゲートの設置を行う予定でありますのでご周知させていただきます。

林道は多面的機能を有する森林の適正な整備及び保全を図り、効率的かつ安定的な森林経営を確立するために必要不可欠な施設として位置付けられているところではありますが、尾鷲市管理林道の殆どが開設から30年以上経過しており、橋梁や法面の老朽化がすすんでいることから、安全・安心な森林施業へも影響を及ぼす可能性もある状況や山林所有者の長年による手入れにより成長した森林の盗伐を防ぐためにも、開閉ゲートの設置が必要ではないかと考え、平成27年度~平成28年度(予定)にかけて林道入口付近への開閉ゲートの設置を計画致しました。今年度は上記位置図に掲載しております10路線への設置を行う予定であり、森林組合おわせ会員様のご協力を頂き、事業実施を行ってまいりたいと思いますのでよろしくお願い致します。 ※平成27年度工事期間:平成27年11月20日~平成28年3月